12	⑧幼児のおやつ作り○幼児の体の特徴を振り返り、必要な 栄養を理解し、おやつづくりを計画 し、行う。【A(2)アイ】	2	・幼児の栄養の特徴をとらえ、おやつづくりの方法を知る。・幼児の栄養の特徴をとらえ、おやつづくりができる。(プリント・実習計画書・テスト)	・幼児のおやつに適した調理法を工夫できる。 (プリント・実習計画書)	・幼児の栄養に関心をもち、積極的に調理に取り組む。 (実習計画書・授業観察)
1 2	2. 家庭生活と地域のかかわり ①家庭生活と地域での活動 ○家庭生活は、地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解する。 【A(3)アイ】 ②多様な人びとが暮らす地域 ○地域で多様な人びとが暮らせるための工夫を理解する。 ・ピクトグラムなど誰もが暮らしやすい地域づくりのための工夫を知り、理解する。 【A(3)アイ】	2	 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。 (ワークシート) ・高齢者など地域の人びとと協働する必要があることについて理解している。 (ワークシート) 	ている。 (ワークシート)	・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 (ワークシート)
	③地域に暮らす高齢者 ○地域で活動する高齢者や,見守りが 必要な高齢者などさまざまな高齢者が いることを理解する。 【A(3)アイ】		・介護など高齢者との関わり方について 理解している。 (ワークシート)		解決に主体的に取り組み,課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 (ワークシート)
3	4. 幼児とのふれ合い ①ふれ合い体験の前に ○幼児とのふれ合い体験について自分 の課題をもち、ふれ合うときの留意点 を理解する。 ・さ児がいることを理解し 幼児がいることを理解し 幼児がいることを理解し 幼児がいることを理解し 幼児をもちがいる。 《保育体験》 ○幼児をする。《保育体験》 ○幼児をのかかわり方に対策がを 工夫・幼児に合った接し方や遊びを 工夫(2)アイ】 ③ふれ合いたる。 【A(2)アイ】 ③ふれとのかかたことを 、幼児とや考えない にないたい、幼児といったの理解を いめいたことを発表する。 【A(2)アイ】 【A(2)アイ】	2	・幼児にとっての遊びの意義をふれ合い体験を通して分かったことをまとめることができる。 ・自分の課題に沿って、まとめ方を工夫し課題の解決ができる。 ・遊び方やかかわり方を工夫し、課題をもって幼児とふれ合うことができる。 (ワークシート・レポート・テスト)	・ふれ合い体験を通して、自分の家庭での役割を考えることができる。 ・家庭や家族の基本的な機能を理解し、家族関係をよりよくすることを考える。 (ワークシート・プリント・レポート)・課題解決に向けて、製作したおもちゃの活用を工夫し、解決しようとしている。 ・どのくらい成長しているか、どんなことができるようになっているかがわかる。 (ワークシート・レポート・授業観察)	・ふれ合い体験を通して、自分の家庭での役割を考えようとしている。 (ワークシート・レポート)